

地震から町を守る

～関東大震災から横浜が学んだこと～

E-0-4
防災・災害

【 対象 】 一般教員、司書教諭、司書、児童・生徒
一般 他

【 時間 】 50分

【 会場 】 多目的ルーム、会議室、教室など

【参加者の持ち物】
筆記用具
など

【準備】 地図
キット 3-0-1-1 3-0-1-4 3-0-3
3-2-1-2

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】 *ワークシートは各校で作成

- ① 横浜市の現在の地図と大正9年の地図を並べる。
(※関東大震災は大正12年。)
- ② 関東大震災を伝える新聞資料を見る。
- ③ 資料から関東大震災の被害と原因を調べワークシートに書く。
火災・倒壊（レンガ作り）・交通網の寸断 等
- ④ 地震に強い都市になるため横浜市が復興の中で取り組んだことをワークシートに書く3-0-1-1。
- ⑤ 東日本大震災の横浜の被害から、災害に対する課題を考え、発表する。
- ⑥ 災害に強い「町」のモデル作りのアイデアを班で出し合い、発表する。

【 その他 】 関東大震災で壊滅的な被害を受けた横浜の復興から、災害に強い町づくりを考える学習です。被害を大きくしたものは何かを探ることでより良い対策を自ら見つけ、意見を交わします。
主体的に町づくりに参画するという取り組みです。横浜を例に自分たちの町について考えるとよいですね。